

社協だより

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会

しあわせ

2019年
7月1日発行
No.163



ボランティア連絡協議会のみなさんによる「かざぐるま作り」が始まりました。

このかざぐるまは、10月に行われる関ヶ原合戦祭り会場内の共同募金テントにおいて、募金をしていただいた方にお渡ししています。今年はどんな素敵なかざぐるまができるでしょうか。お楽しみに！

この広報誌は、みなさまの会費及び共同募金により発行しています。

共同募金・歳末たすけあい募金

- 共同募金10/1～12/31（募集実績1,210,450円）
 〈交付を受けた配分金の使途〉
 ふれあい会食
 ふくしフレンドパーク
 障がい者のつどい
 社協広報誌
- 歳末たすけあい募金12/1～12/31（募集実績971,481円）
 〈交付を受けた配分金の使途〉
 ひとり暮らしのつどい事業
 友愛訪問助成
 紙おむつの支給
 授産施設の支援
 せきがはらボランティア福祉まつり助成
 買い物支援事業
 子育て支援事業

寄附金・寄附物件

- 寄附金（個人5件、法人団体等8件）
- 寄附物件（8件）

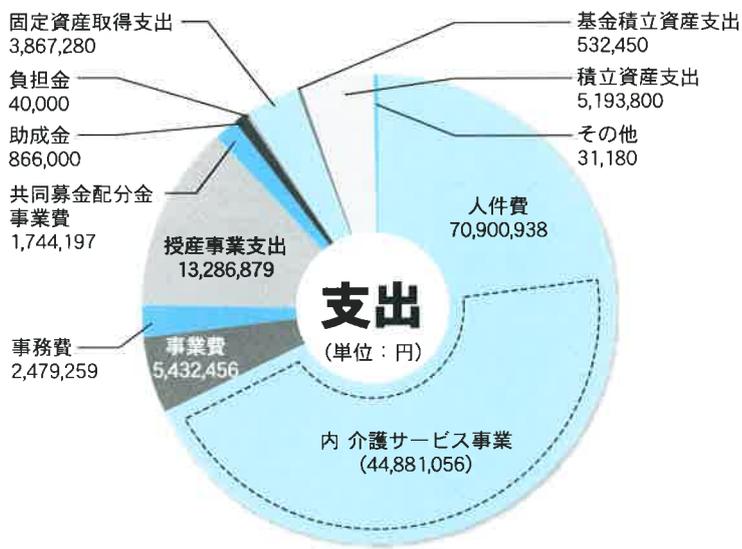
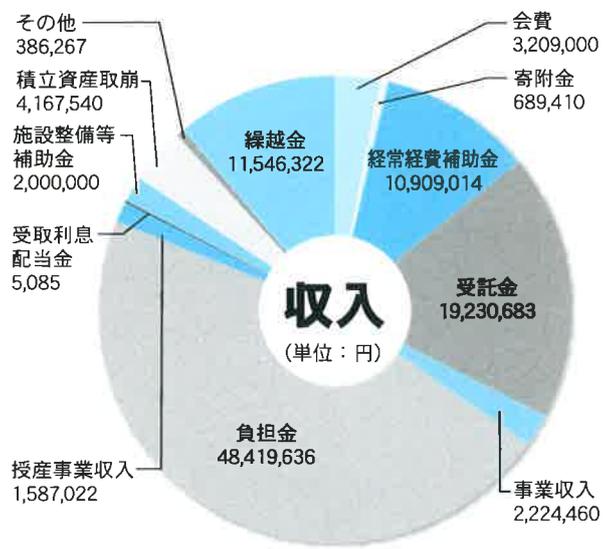
日赤社資・寄附金

- 日赤社資、寄附金（募集実績 1,226,500円）
- 奉仕団活動
 ふれあい会食
 特別養護老人ホーム お話ボランティア（毎月第2木曜日）
 高齢者訪問活動

その他

- 冠婚葬祭用衣装貸出
- 行旅病人 52人

法人全体（事業区分別）資金収支計算書



収入 104,374,439円

支出 104,374,439円

※不足額は、前期支払資金（繰越金）を充当しています。

収益事業拠点区分 資金収支計算書

葬祭用祭壇貸出（互助会せきがはらへ業務委託）

(単位：円)

勘定項目		決算
収入	受取利息配当金	26
事業活動収入計		26
支出	事業費	29,703
事業活動支出計		29,703

※不足額は、前期支払資金（繰越金）を充当しています。

冠婚葬祭用衣装貸出事業

(単位：円)

勘定項目		決算
収入	事業収入	91,000
	受取利息配当金	8
事業活動収入計		91,008
支出	人件費	163,175
	事業費	11,848
事業活動支出計		175,023

※不足額は、前期支払資金（繰越金）を充当しています。

平成30年度 関ヶ原町社会福祉協議会事業報告・決算報告

平成30年度の事業について次のとおり報告いたします。本会事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

事業報告

会務の運営

- ・理事会の開催（4回）
- ・評議員会の開催（3回）
- ・評議員選任・解任委員会の開催（2回）
- ・監事会の開催（1回）
- ・地域組織部会の開催（1回）

小地域福祉活動

- ・福祉推進員活動
第15期福祉推進員委嘱式及び連絡会
認知症サポーター養成講座の開催
福祉推進員連絡会役員会の開催（2回）
- ・研修会の参加（2回）
- ・ふくしフレンドパーク実行委員会の開催
- ・いきいきサロン活動
いきいきサロン連絡協議会役員会の開催（4回）
いきいきサロン連絡協議会総会（1回）
いきいきサロンのつどい実行委員会の開催（4回）

福祉教育の推進・ボランティア活動の振興

- ・福祉協力校の指定（関中、今中、関小、今小）
- ・ボランティアスクールの開催（参加者111名）
- ・日置市ボランティア交流事業（参加者10名）
- ・ボランティア連絡協議会の開催（5回）
- ・福祉協力校連絡会（2回）
- ・ボランティアセンターだより「さわやか」発行
- ・ボランティア登録 14団体 登録者延べ329人
- ・傾聴講座の開催（受講者31名）
- ・学習支援事業（参加者69名 ボランティア12名）
- ・せきがはらボランティア福祉まつり（来場者約300名）

企画・広報・啓発・大会

- ・第23回ふくしフレンドパーク開催（2日間）
- ・第17回いきいきサロンのつどい開催（参加者400名）
- ・第5回グラウンドゴルフ交流会（参加者99名）
- ・社協だより「しあわせ」の発行（年間6回）
- ・社協ホームページの更新

福祉推進事業及び援護事業

- ・福祉用具の貸出
- ・介護用品の支給（紙おむつ）年1回39人
- ・ふれあい会食の開催 年間2回（参加者56名）
- ・ひとり暮らしのつどい（参加者28名）
- ・介護者サロンの開催 年間2回（参加者18名）
- ・助成金交付（三世代活動支援、さくらんぼの家
保護者会、障がい児（者）親の会、保育園保護
者会、戦没者慰霊行事）
- ・移送サービス事業（年間延べ利用者521人）
- ・困りごとサポート事業
サポーター派遣回数 23件
買い物（外出）支援 31件

受託事業

- ・小規模授産施設「さくらんぼの家」の経営
- ・関ヶ原町高齢者温泉利用料助成事業
（温泉利用累計1,739名）

介護サービス事業

- ・関ヶ原町介護サービス事業
（やすらぎ）への専門職員派遣

生活福祉資金・福祉貸付金

- ・生活福祉資金（県委託事務）貸付1件、
相談10件
- ・生活困窮者自立支援事業 4件

しあわせ相談センター事業

- ・心配ごと相談、弁護士相談を実施
（年間24回）
- ・結婚相談の実施（年間12回）
- ・巡回相談の実施（年間3回）

会員・会費

- ・一般会費（2,164世帯 2,164,000円）
- ・特別会費（158人 330,000円）
- ・賛助会費（79法人・団体 715,000円）

会長就任のごあいさつ



社会福祉法人
関ヶ原町社会福祉協議会

会長 三輪 均

盛夏の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年度は、社会福祉協議会の役員改選期であり、6月24日の評議員会におきまして10名の理事が選任され、同日開催の理事会にて会長、副会長、常務理事を選定いただき、私こと引き続き2年間の会長職に就任をいたしました。

平成29年4月施行の改正社会福祉法から2年、社協として地域公益事業に力を注ぎ、微力ではありますが、5年間の会長経験を活かし、会員の皆様のご支援ご協力を賜り、本会発展のために最善の努力を尽くす所存であります。

本会は、「互いに助け合い 安心して暮らせる福祉のまちづくり」の基本構想実現に向けて、今任期中に策定します第5次関ヶ原町地域福祉活動計画を第3次関ヶ原町地域福祉計画を基に、地域に必要な生活支援体制を築き上げていく所存です。前期の事業では改正社会福祉法による地域公益事業への新たな取り組みとして、生活支援事業の困りごとサポート事業や地域生活支援の買い物支援を実施してきました。

今後、超少子高齢化社会を迎える関ヶ原町の地域包括ケアシステム及び地域共生社会の環境整備の仕組み作りが必要となります。

住民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、関係機関と連携・協働し、社会福祉協議会の事業を推進してまいります。

町民の皆さまの一層のご支援と、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年7月1日

関ヶ原町社会福祉協議会

役員紹介

(任期2年) (順不同・敬称略)

会長	理事	三輪 均	学識経験者
副会長	理事	淡川 貞夫	自治会連合会
副会長	理事	吉田 慎昭	民生・児童委員協議会
	理事	北村 美代子	女性防火クラブ
	理事	澤頭 健治	商工会
	理事	吉田 儀一	老人クラブ連合会

理事	小寺 秀家	身体障害者福祉協会
理事	高木 みどり	ボランティア連絡協議会
理事	三宅 芳浩	行政機関
常務理事	西脇 哲郎	学識経験者
監事	南形 賢治	学識経験者
監事	吉田 和司	学識経験者



問：組み合わせると何県になるかな？

エ イ 目
ハ ナ 口 カ



答えは8ページにあります。

社協会費にご理解とご協力をお願いします！

7月1日より関ヶ原町社会福祉協議会会員・会費(社協会費)を募集いたします。

社協は町民のみなさまを会員として、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」を目指し、さまざまな事業を行っています。

みなさまからお寄せいただいた会費は、これらの事業をすすめるための貴重な財源とさせていただきます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

みなさまからの会費は次のような事業に使わせていただきます。

- ボランティア活動や子どもたちの思いやりの心を育てる福祉教育を進める事業
- 住み慣れたまちで安心して暮らすための福祉活動を進める事業
- ひとり暮らしのお年よりや障がいのある方、子どもたちのための事業
- 福祉について理解や参加を呼びかける事業

《会費の種類》

一般会費(世帯)	1口/1,000円
特別会費(個人)	1口/2,000円
賛助会費(法人・団体)	1口/5,000円

※一般会費と特別会費は、自治会を通じてもご協力いただいております。



さくらんぼ通信

生活介護事業所 さくらんぼの家 TEL43-1525

5月30日(木)、晴れわたる空の下、1回目の社会学習にて海津市の「お千代保稲荷」へ行ってきました。施設でお千代保稲荷に行くのは久しぶりで、「前に行ったときはあのお店に行った〜」「今日は何を買おうかな〜」と利用者さんもわくわくどきどき。1時間程車で進み、目的地に到着です。いろいろなお店が立ち並ぶ参道をゆっくり歩き、昼食会場へ向かいました。それぞれ好きなメニューを注文し、出てきた料理に舌つづみ。食事の後は、「元気で通えますように…」とそれぞれの想いを胸にお参りしました。おみくじでは、出てきた内容に一喜一憂し、今後の幸せを願いました。帰りの参道では、ソフトクリームを食べたり、ジュースを飲んだり「涼」を感じ風情を楽しみました。暑い1日でしたが、お土産もたくさん買い、笑顔あふれる楽しい社会学習となりました。



ボランティアセンターだより
NO. 121 さわやか

災害ボランティアコーディネーター関ヶ原(SVC関ヶ原) 総会開催
 ～ 岐阜県の河川の危険についての研修も ～

5月11日(土)、関ヶ原診療所北棟の会議室において、災害ボランティアコーディネーター関ヶ原(SVC関ヶ原)の総会および研修がおこなわれました。



なぜ関市で川が氾濫したのか、シンポジウムの報告をする南形会長

総会には西脇町長と町議会の松井議長も出席され、役員より昨年度の事業報告と会計報告、今年度の計画がおこなわれ、承認されました。

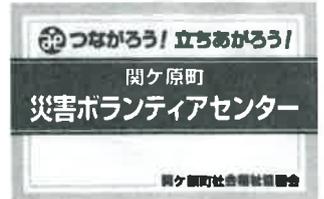
総会後はSVC関ヶ原の南形会長(防災士)により、昨年度参加された災害に関するシンポジウムの内容と、関市豪雨災害について災害発生の原因や被害状況の報告が行われ、その後、岐阜県の河川の実態について説明されました。

会長のわかりやすいお話を会員のみなさんは真剣に聞いておられました。

また、9月に関市へボランティアとして参加された会員から、水害の床下泥だし作業の大変さや被災された方々の様子などについて報告があり、真夏の作業の過酷さが伝わってきました。

町長には研修も参加していただき、終わりに関ヶ原町の防災についてお話しいただき、「会員のみなさんも町内で危険な場所など気が付いたことがあったらお知らせください」とのことでした。

また、昨年、整備された、災害ボランティアセンター被災者支援用の備品や、社協で作った「つながろう！立ち上がろう！」という言葉のはいったボランティア用名札を確認しました。



災害ボランティアセンターで使用するボランティア用名札

今年度も、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練や防災訓練への参加など、万が一のために訓練や研鑽を積まれるSVC関ヶ原会員のみなさんの活動に期待いたします。

※8月25日(日)の午前9時30分から、やすらぎの玄関前で「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」をおこないます。見学大歓迎です。

災害ボランティア受付



ボランティアスクール開催 もうすぐ夏休み！今年もいっぱい思い出つくろう

中学生 のみなさんは

いきいきコース

日にち：7月29日(月)・30日(火)

- 点字や手話の基礎を学ぼう
- 障がいのある方への接し方
- 体験活動 など

小学生 (4～6年生) のみなさんは

わくわくコース

日にち：8月7日(水)・8日(木)

- 点字や手話の基礎を学ぼう
- 車いすから見える世界
- 認知症について など

※詳細は学校で配布する募集チラシをご覧ください。お問合せ先：関ヶ原町社会福祉協議会(☎43-2943)

お詫びと訂正

社協だよりNo.162(5月1日発行)6ページの「非政府組織」の英語のスペルに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
 (誤) Non Governmental Organization → (正) Non Governmental Organization



福祉協力校だより



今須中学校

校庭の除草

本校は児童生徒数が少ないため、春から夏の雑草の生育が旺盛な時期には、運動場に雑草が生い茂り、運動場での活動に支障をきたします。そこで、朝活動の時間を利用して週2回、中学生が校庭の除草を行っています。今年度も、中学生のがんばりのおかげで、運動場はきれいな状態が維持できています。

インスタントシニア体験

4月18日(木)、1年生の総合的な学習の時間にインスタントシニア体験を行いました。体験を通して、実際の高齢者に接する際に気を付けるべきことについて、真剣に考える良い機会となりました。

小中合同野外活動

4月23日(火)に、小中合同野外活動を行いました。今須と関ヶ原の史跡や名所を巡る総距離約9kmの行程を、全校児童生徒で歩き切りました。松尾山登山では下級生を気遣い、ペースを落として寄り添う中学生の姿が至るところで見られました。上級生の頼もしいリードのおかげで、入学して間もない1年生もがんばって歩き切ることができました。



資源回収

5月18日(土)に小学校と協力して資源回収を行いました。小学生やPTA、地域の方と協力して作業に取り組む中で、率先して動いたり手助けをしたりする姿がありました。次回は11月30日(土)を予定しています。

広島研修旅行

5月21日(火)から23日(木)にかけて、中学3年生が広島市での研修旅行に出かけました。初日は、研修の目的の一つである平和学習を中心に行いました。原爆ドームと平和記念公園の見学後、広島市国際平和部平和推進課を訪問しました。昨年度の3年生が社会科の学習で取り組んだ商品開発の収益や地域のイベントで集めた募金を、原爆ドームの保存に役立ててもらうためです。続いて、平和記念資料館を見学し、被爆体験証言者から原爆投下時の広島についてのお話を伺いました。被爆直後の悲惨な状況に加えて、広島市の復興後も続く「被爆者」へ向けられる



壮絶な差別の現状を知り、原爆と、それを使わせた戦争の恐ろしさを改めて知ることができました。広島市立基町高等学校では、美術部の皆さんと交流しました。美術部では毎年、原爆体験者からの証言を基にした絵の製作に取り組んでいます。交流では、戦争の恐怖が色あせないように色々な人に伝えたいという部員一人一人の強い思いを知りました。昨年までの先輩が作った「今須中学校平和宣言」。昨年度は難しいことが書いてあるな、としか思いませんでしたが、宣言に込められた思いについて、理解することができた1日となりました。

